

学校給食無料化請願「採択」

総務文教常任委員会で全会一致

小中学校の学校給食費の無料化を求めて6月沼田市議会に、新日本婦人の会沼田支部（高橋芳子支部長）から提出されていた「学校給食費の無料化を求める請願書」（紹介議員：井之川博幸・大東宣之）は、付託された総務文教常任委員会で8日に審査され、全会一致で「採択」されました。

審査にあたっては、賛同署名が1,700余名分添付されていたことが紹介されました。永井房江事務局長の意見陳述では、給食費を滞納している児童生徒の家をまわっていたころの状況などが話され、「親が払わないのは子どもの責任ではないのに、子どもは学校で肩身の狭い思いをしている」など、リアルな現場の状況が語られ、「無料化」が子どもたちの生活や学力向上にもつながることや親たちも救えると訴えました。

審査の結果は11日の本会議に委員長報告され、議会全体で審議され、採決されます。



6月議会への追加議案

◎財産の貸付について・旧市役所跡地をホテルルートインに35年間貸付する（下記記事を参照）

◎動産の取得について

沼田市立図書館地下1階の書架等一式を株式会社ナカムラと契約する。契約方法は一般競争入札、契約金額は26,950,000円。

◎東下原団地建築改修工事請負契約の締結について

東下原団地C棟の建築改修工事を沼田土建株式会社と契約する。契約方法は一般競争入札、契約金額は217,800,000円

◎中央公民館解体工事請負契約の締結について

中央公民館解体工事を株式会社オーケンコーポレーションと契約する。契約方法は条件付一般競争入札、契約金額は175,450,000円



ついに解体されて
しまう文化の殿
堂中央公民館

（↓下段からのつづき）されるホテルが10階建と高層のため、日照が制限されるなどの厳しい状況や夕食提供はしないと契約書に明記されていないこと。小学校や女子高校が隣接している優良な文教地区であり懸念があることなど、市民から出されている意見について市と議会との協議が始まったばかりで、「市民への説明が不十分」「市の進め方は市民不在」というものです。それ以外にも、市がルートインの誘致で33億円の経済効果があると試算し、市内全戸にそのチラシを配布していますが、その積算根拠を否定する数値やメリットだけを主張しデメリットは一切認めないなど強行姿勢への批判もありました。

ホテルへの土地貸付議案は「否決」

総務文教常任委員会は反対多数で否決

市が6月議会の途中で突然提出してきた、ホテルルートインに旧市役所跡地を35年間貸し付ける契約を結びたいとする「財産の貸付について」議案は、付託された総務文教常任委員会が8日に審査を行い、反対多数で「否決」されました。

反対者の理由は、市が地元住民等にまったく説明もしていないのに、ホテル側が4月30日に地元説明会を行い、8月着工、来年秋開業などと説明しました。市はあわてて5月20日に議会へ説明、28日に初めての地元説明会を行いました。建設（右中段へつづく）

2021年6月13日 No.1020

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料